



槌 本 農 園

T S U C H I M O T O F A R M

槌本農園紹介
2025/01/19

自己紹介

槌本俊貴（ツチモトトシキ）（33歳）

- 大阪府箕面市出身
- 東京の大学卒業（国際関係学部）
- 大学在学中から有機農家になることを志す、全国の農家めぐりが就職活動
- 本『未来へつなぐ食のバトン』で、臼杵市を知り有機農業の取り組みに感銘を受け、モニターツアーで実際に臼杵市へ
- 2016年新卒で有機農業を推進する臼杵へ、臼杵市地域おこし協力隊有機農業研修生第一期生
- 2017年、妻（千葉県出身）と結婚
- 2024年現在、妻と息子三人と楽しく臼杵暮らし



農園紹介

- 2016年臼杵市地域おこし協力隊有機農業研修生
- 藤嶋農園（臼杵市野津町）にて三年研修
- 2018年仲間とともに「usuki famer's marketひやくすた」を立ち上げ
- 2019年4月約70aの畑で就農
- 2022年3月有機JAS取得
- 2022年5月~12月槌本農園を半年休園（三人目を妊娠出産）、畑は緑肥で管理。

長野県の先進有機農場で期間スタッフとして約半年修行

- 2023年4月から2名のスタッフを雇用
- 2024年現在妻とスタッフ4名と多品目野菜作りに奮闘

農園名（所在地）	槌本農園（臼杵市野津町）
代表者	槌本俊貴 妻詩織（管理栄養士）、スタッフ4名）
メンバー	
沿革	• 大学在学中に有機農業に出会う • 臼杵市の協力隊有機農業研修生3年就農6年目
生産品目	• 旬の露地野菜 • 適正量多品目 • 年間約80種類 • 約2.5ha、売上げ約1600万（2024年）
経営面積	
主な販路	小売店卸、飲食店卸、（個人宅配）
特徴	• 野菜嫌いが届けるおいしい野菜 • 野菜の魅力を最大限に引き出す • 野菜の周年栽培

現状、今後の動き

- ・ 販路はまだまだ個人でも開拓できる。圃場面積、生産量拡大を目指す。一作反収最低70万以上。
- ・ 真剣に農業に向き合える人材の雇用と、どっぷりやりがいを感じられる職場づくりを目指す。

来年度二名募集してます。良い人いたら紹介してください。

- ・ オリジナル袋の作成。シールを張る作業が手間。改めて有機JASで押していくのではなくオリジナル袋を作ること農園としてのブランド化を進めていく。有機JAS自体のブランディングに自分たちは大きく関われない。
- ・ 生産性の向上。今後整った農地が広く借りられる見込みが出たら、自動運転と、乗用管理機による効率化を目指す。春作の需要増（藤木のうち丸の導入検討）。

栽培における課題

（田中さん、皆さんに聞いてみたいこと）

- ・ 堆肥の多投によるカリの蓄積が気になっている。→緑肥、果菜類（ナス、キュウリなど）
- ・ 黒ぼく土壌でリンを入れても中々出てこない。具体的に何をすれば。
- ・ チッソ肥料として現在は、メインはアミノ酸肥料のバイオの有機（大成農材）を使用。良質な菌を入れたいときはナチュラルぼかし（福岡、山本商店）を使用しているが機械散布（ブレンダーソーワ）だと詰まる。九州圏内で手に入る良質な菌体肥料Nを知っていれば教えてください。
- ・ 秋作の防虫。みなさん課題だと思うので、もし今年うまくいった事例などあれば知りたいです。